

【各がん検診の注意事項】

胃がん検診	胃がん検診を受ける前日の夜9時以降は食事をしないでください。
	検診の2時間前であれば200ml程度の水は飲んでも差し支えありません。
	ボタン・ファスナー・厚手のプリント、刺繍、ビーズがない服でお越しください。
	ネックレス、湿布、エレキバン、金属のついた下着等は撮影の妨げになるため、ご遠慮ください。
	バリウム検査を受けた後は、すぐにできるだけ多くの水分で下剤を内服してください。 バリウム便(白い便)が排泄されない状態が続くと、腸閉塞や消化管穿孔(穴があいた)などの症状を引き起こすことがあります。 必ず、バリウム便(白い便)が排出されたか確認しましょう。
乳がん検診	新型コロナウイルスワクチンを接種した方で乳がん検診を希望される場合は、ワクチン接種後6～10週間の間隔をあけてから乳がん検診を受けるようにしてください。 ワクチン接種後に脇の下のリンパ節が腫れる場合があります。
大腸がん検診	採便は提出の4日前から可能です。
	痔出血、生理中の便採取は避けてください。
	胃がん検診後のバリウムが混ざった便では検査ができません。 受診された方は、1週間空けて採便してください。
	採便容器は直射日光の当たらない涼しい場所で保管してください。